

# 質 疑 回 答 書

- 1 工事番号 西下第22号  
2 工事名 寺地排水区寺地雨水バイパス管下水道工事

上記工事につきまして質疑事項がありましたので、下記のとおり回答いたします。

質 疑 事 項	回 答
<p>1 No2 . 分水人孔内 コンクリート用耐摩耗板(図面番号24/39) t = 20mmの材料仕様について</p> <p>・No2.分水人孔内に設置する、コンクリート用耐摩耗材(t = 20mm)の材料仕様について御指示願います。</p>	<p>5mの落差に対応した合成ゴム製の材料で積算しています。</p>
<p>2 No2 . 分水人孔内 スクリーン(図面番号27/39)について</p> <p>・No2.分水人孔内に設置する、スクリーン設計図面(図面番号27/39)の施工数量が工事数量総括表に計上されておられません。当該工事の施工対象外でしょうか指示願います。</p> <p>また当該工事の施工対象範囲でありましたら、スクリーン材の仕様(材質)についても御指示願います。</p>	<p>現在、水路管理者との協議はおおむね完了しておりますが、詳細な仕様等が確定していないため当該工事の施工対象外としております。協議が完了し、仕様等が確定した時点で別途付帯工事を発注する予定です。</p>
<p>3 No2 . 分水人孔内 鋼蓋 縞鋼板 t = 4.5(図面番号28/39)について</p> <p>・No2.分水人孔内に設置する、鋼板 縞鋼板 設計図面(図面番号28/39)の施工数</p>	<p>現在、水路管理者及び道路管理者との協議はおおむね完了しておりますが、詳細な仕様</p>

<p>量が工事数量総括表に計上されておりません。当該工事の施工対象外でしょうか指示願います。</p> <p>また当該工事の施工対象範囲でありましたら、縞鋼板材の表面処理方法(亜鉛メッキ等)についても御指示願います。</p>	<p>等が確定していないため当該工事の施工対象外としています。協議が完了し、確定した時点で別途付帯工事を発注する予定です。</p>
<p>4 泥水処分場について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計で想定しております、汚泥処分場(ペントナイト泥)を御指示願います。</li> </ul> <p>特記仕様書 建設副産物特記仕様書に記載されておりませんので御指示願います。</p>	<p>新潟特殊企業(新潟市江南区丸潟新田726-1)で積算しています。</p>
<p>5 近接する済生会新潟第二病院による施工規制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・済生会新潟第二病院の施工に対する、作業時間帯の規制を受ける事が想定されますが、病院との協議はお済みでしょうか。</li> </ul>	<p>済生会第二病院とは水路を隔てて離れているため事前の協議はしていません。</p>
<p>6 発進基地の用地について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両発進立坑の発進基地用地(プラント用地)は何処を想定されておりますか、また借用地協議はお済みでしょうか。</li> </ul> <p>また両発進立坑横の空地(国土交通省)の借地は可能でしょうか御指示願います。</p>	<p>別添図面のとおり、市道西7-31号線及び国土交通省用地を作業ヤードとして想定しており、各管理者とは事前協議が済んでいます。</p>
<p>7 国土交通省(空地)の借用について</p> <p>両発進立坑横の空地(国土交通省)を発進用地(プラント用地)として使用するため借地は可能でしょうか?また借地協議はお</p>	<p>国土交通省所有地は管理者と事前協議が済んでいて、作業時に使用できることとなっています。</p>

<p>済みでしょうか御指示願います。 ( 質疑番号 6 に類する質問です )</p> <p>8 泥水式推進は昼間の1方施工と考えてよいのでしょうか。</p> <p>9 施工時間については、昼間施工と考えて宜しいのでしょうか？ 又、時間規制があれば、教えて頂きたい。</p> <p>10 推進工事での泥水プラント他の防音設備は無しと考えて宜しいでしょうか？</p> <p>11 済生会新潟第二病院が近接してますが、作業上、拘束される条件をお教えてください。</p> <p>12 両発進立坑、到達立坑、各人孔、地盤改良施工時の道路占用は、どのように考えれば宜しいのでしょうか？</p> <p>13 両発進基地の用地交渉はどの程度まで完了していますか？ 又、用地の費用は無料と考えて宜しいでしょうか？</p> <p>14 No1立坑部の発進基地は、何処までを基地として使用出来るのか御教示願います。</p>	<p>昼間施工で考えています。</p> <p>昼間施工で考えています。 特に時間規制はありません。</p> <p>無しで考えています。</p> <p>特にありません。</p> <p>No.1両発進立坑での作業は通行止めで、No.2到達立坑での作業は車線減少で考えています。</p> <p>両発進基地の作業ヤードは市道または国土交通省用地であり、各管理者とは事前協議が済んでいて作業時に使用できることとなっています。(無料)</p> <p>別添図面を参考にしてください。</p>
--	--

<p>1 5 No1立坑からNo0ケーソン部への推進時、元押し推力がかなり増大すると推定されます。背面地耐力強化の為の防護注入工が必要なのではないのでしょうか。御教示願います。</p>	<p>検討した結果、必要な反力が得られるため、防護注入工は必要ありません。</p>
<p>1 6 今回発注の推進工事は、昼間作業のみで長距離推進かつ曲線も有ります。元押し推力は必然的に高くなります。多量の滑材注入だけでは万一の事態を考えると不安があります。中押管・中押装置は必要ではないのでしょうか。御教示願います。</p>	<p>元押のみで推進可能な工法を採用しているため、中押管・中押装置は必要ありません。</p>
<p>1 7 No1、No2立坑に砂質層であると推定されますが、圧入だけでは鋼矢板の打込みは無理であります。ウォータージェット併用の場合は協議の対象となるのでしょうか。御教示願います。</p>	<p>実施設計時の土質調査の結果では必要ありません。 土質条件等が変わった場合は協議の対象とします。</p>
<p>1 8 推進工二次処理設備にPH中和装置や中和剤がありませんが、アルカリ性のまま側溝に流して良いのでしょうか。裏込注入工時、日々の2インチ管の管内水洗い期間が短い為は無視するという考え方でしょいか。御教示願います。</p>	<p>物質収支計算の結果、PH中和装置は必要ないので計上していません。 日々の洗浄については、率計上されている共通仮設費の準備費に含まれていると考えています。</p>
<p>1 9 . 既設のケーソンは雨水用ですか、それとも汚水用ですか。有毒ガスの有無もあわせてご教示願います。</p>	<p>雨水用です。有毒ガスはないものと想定しています。</p>

<p>20 . 推進管の仕様は、1種ですか、2種ですか。また、強度は50N/mm2か70N/mm2のどちらですか、ご教示願います。</p>	<p>1種・50N/mm2です。</p>
<p>21 . 推進工事は2路線それぞれ、昼夜どちらの施工と考えればよろしいですか。</p>	<p>それぞれ昼間の施工です。</p>
<p>22 . 両発進立坑部は通行止め可能と考えてよろしいでしょうか、また、期間および開始可能時期をご教示願います。</p>	<p>市道西7-31号線は通行止めでの施工を想定しています。期間及び開始可能時期は、請負後管理者との協議になります。</p>
<p>23 . 両発進立坑の脇に国交省の空地がありますが、使用可能な場所と面積をご教示願います。</p>	<p>すべて使用可能です。</p>
<p>24 . 路面覆工を設置する到達立坑は片側交互通行で施工できるという考えでよろしいですか、ご教示願います。</p>	<p>現在3車線あるうちの1車線を作業ヤードに使用し、2車線を対面通行で確保しての施工を考えています。</p>
<p>25 . ケーソン内部の流水等の状況等により、到達立坑内に使用可能時期等の制限はありますか、ご教示願います。</p>	<p>梅雨時期等の大雨が予想される時期を避けての施工を考えていますので制限はありません。</p>
<p>26 . 建設副産物特記仕様書に、コンクリート殻搬出地はL=9.5kmとありますが、施工内訳書の施工 第0-0031内訳表には7.0km以下とあります。どちらで考えればよろしいですか、ご教示願います。</p>	<p>7.0kmで積算してください。</p>

<p>27. 内訳書の施工 第0-0036内訳表に発進受台工の鋼材重量と設置撤去費が記載されていません、どのように考えればよろしいですか、ご教示願います。</p>	<p>2,200mm泥水式推進工法の標準的な重量で積算しています。(5.61t)</p>
<p>28. 人孔内のステップの仕様をご教授願います。</p>	<p>幅400mmでポリプロピレン防錆皮膜仕様です。</p>
<p>29. No.1両発進立坑の4段目切梁の設置期間はNo.1立坑掘削完了までと考えればよろしいでしょうか、ご教示願います。</p>	<p>No.1立坑掘削完了までです。</p>
<p>30. 施工 第0-0136号内訳書の別紙計算書よりとありますが、手元の資料にないので、ご提示願います。</p>	<p>単抜きの数量で積算してください。</p>
<p>31. 数量計算書の最終ページに家屋調査及び沈下棒数量表に準備打ち合わせ1式、工作物調査面積150m2未満2件とありますが、本工事費内訳表にこの項目がありません。計上の有無について御教示願います。</p>	<p>設計段階では不要と考えており計上していません。</p>
<p>32. 数量計算書には家屋調査150m2未満2件と記載されていますが、これを事業損失防止施設費として計上するのでしょうか。</p>	<p>設計段階では不要と考えており計上していません。</p>
<p>33. ケーソン頂版設置撤去工の図面、規格、数量等を御教示願います。</p>	<p>構造・数量等は別添図面をご参照ください。工種に含まれる作業は、FRP蓋・鉄骨の撤去・再取付と養生工です。</p>

<p>3 4 . 施工区分は推進工、立坑工、特殊人孔工、付帯工、仮設工等全て昼間施工と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>昼間施工と考えてください。</p>
<p>3 5 . 図番5/39 工種明細表頁6 推進管は中押し管の計上がされておりましたが、元押しのみで施工可能と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>元押しのための施工です。</p>
<p>3 6 . 図番1/39 図番4/39 図番38/39 工種明細表頁49 ・NO.0既設コンクリートケーソン到達立坑からの推進機回収時の作業用地は無償借用と考えてよろしいでしょうか。またNO.1両発進立坑付近の道路及び空地（国土交通省）の使用は工事用地として利用可能でしょうか。可能な場合の借地料等はどのようにお考えでしょうか。尚、仮囲い箇所はこの箇所です。</p>	<p>No.0既設コンクリートケーソン到達立坑は市のポンプ場用地であり無償です。 No.1両発進立坑付近の道路（西7-31号線）及び国土交通省用地は無償で利用可能です。 仮囲いは別添図面を参考にしてください。</p>
<p>3 7 . 位置図 ・NO.1両発進立坑付近は住宅、病院がありますが、防音設備（防音ハウス）振動抑制設備（エアダンパー）等はどのようにお考えですか。</p>	<p>防音ハウス・振動抑制設備等は考えていません。</p>
<p>3 8 . 図番4/39 ・NO.2分水人孔立坑箇所施工時の広域農道1号線の道路規制はどのように考えてよろしいでしょうか。また立坑施工時の水路の</p>	<p>現在3車線あるうちの1車線を作業ヤードに使用し、2車線を対面通行で確保しての施工を考えています。</p>

<p>取り扱い（施工時の流量調整、切り直し等）はどのようにお考えでしょうか。</p>	<p>通常時の水路の水位は10cm程度なので、矢板打設等の作業は砂袋等での防護で可能と考えています。</p>
<p>39．工種明細表頁25 工種明細表頁28 立坑工数量計算書</p> <p>・NO.1立坑は残土処理工が計上されておりませんが、数量計算書では218.1m<sup>3</sup>とありますがどのようにお考えですか。また埋戻し土は良質土、改良土のどちらでお考えでしょうか。</p>	<p>立坑土工のダンプトラック運搬で市指定の残土置場までの運搬費を計上しているため、残土処理工は必要ありません。埋め戻し土は良質土（転用土）を考えています。</p>
<p>40．図番10/39</p> <p>・既設護岸軽量鋼矢板引抜区間L=8.991と明示されておりますが、設計書での計上がございません。どのようにお考えでしょうか。</p>	<p>現在、水路管理者との協議はおおむね完了しておりますが、引抜範囲等詳細な事項が確定していないため当該工事の施工対象外としております。協議が完了し、引抜範囲が確定した時点で別途付帯工事を発注する予定です。</p>
<p>41．図番9/39</p> <p>・立坑築造に伴い既設の歩道部の転落防止柵の撤去・復旧はどのようにお考えでしょうか。設計書にも記載されておられません。撤去、復旧（購入品使用）でよろしいでしょうか。</p>	<p>現在、道路管理者との協議はおおむね完了しておりますが、範囲・仕様等詳細な事項が確定していないため当該工事の施工対象外としております。協議が完了し、詳細事項が確定した時点で別途付帯工事を発注する予定です。</p>
<p>42．その他</p> <p>・薬液注入（止水部）の各立坑毎の数量を御教授願います。またNO.2立坑部地盤改良（JSG、薬注）時のプラントは定置式と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>数量計算書及び施工第0-137号内訳表・施工第0-0142号内訳表・施工第0-143号内訳表・施工第0-144号内訳表をご覧ください。プラントは定置式を考えています。</p>

<p>4 3 . 図番 14/39 工種明細表頁 35</p> <p>・ NO.0 到達立坑箇所の頂版 ( FRP 蓋 ) の撤去・設置については、現況頂版の撤去・再設置と考えてよろしいでしょうか。また土工等発生するのでしょうか。</p>	<p>撤去・再設置で考えてください。構造・数量については別添図面を参照にしてください。なお、土工事は発生しません。</p>
<p>4 4 . 工種明細表頁 14, 15</p> <p>・ 推進一次処理土の運搬、二次処理土の運搬・処分の計上がされていないようですが、どのようにお考えでしょうか。</p>	<p>頁 0-0007 に計上してあります。</p>
<p>4 5 . 設計上の積算に用いた積算基準をご教示下さい。</p>	<p>新潟県土木部の積算基準および、各工法の積算資料を使用しています。</p>
<p>4 6 . 設計積算上の推進工法は、アルティミット泥水式推進工法でしょうか。</p>	<p>元押のみで施工可能な泥水式推進工法の中で最も経済的な工法を選定して積算しています。</p>
<p>4 7 . 推進工における、No1 No 0、No1 No 2 の設計上の平均日進量をご教示下さい。</p>	<p>元押のみで施工可能な泥水式推進工法の中で最も経済的な工法を選定し、日進量を算定しています。</p>
<p>4 8 . 施工内訳表第 62 号</p> <p>・ 汚泥の処分先及び処分費をご教示下さい。</p>	<p>処分先は新潟特殊企業 ( 新潟市江南区丸潟新田 726-1 ) を考えています。処分費は見積り価格を採用しています</p>
<p>4 9 . 図面番号 1 3 / 3 9 ( NO.0 既設ケーソン到達立坑仮設図 )</p> <p>・ 流入管は供用されているのでしょうか。供用されているとすれば、到達用架台の設置・撤去時に流入水を一時止めることは可能でしょうか。</p>	<p>供用されていますが、大雨時にしか水が流入しないので止めずに作業ができるものと考えています。</p>

<p>50 . 図面番号 27 / 39 ( NO.2分水人孔構造図 その4 )</p> <p>・設計書にスクリーンの計上がありません。今回の工事に含まれますか。含まれるのであれば、その材質をご提示ください。</p>	<p>現在、水路管理者との協議はおおむね完了しておりますが、詳細な仕様等が確定していないため当該工事には含んでいません。協議が完了し、仕様等が確定した時点で別途付帯工事を発注する予定です。</p>
<p>51 . 図面番号 28 / 39 ( NO.2分水人孔構造図 その5 )</p> <p>・設計書に鋼蓋の計上がありません。今回の工事に含まれますか。</p>	<p>現在、水路管理者及び道路管理者との協議はおおむね完了しておりますが、詳細な仕様等が確定していないため当該工事の施工対象には含んでいません。協議が完了し、仕様等が確定した時点で別途付帯工事を発注する予定です。</p>
<p>52 . 図面番号 31 / 39 ( NO.2分水人孔構造図 その8 )</p> <p>・コンクリート磨耗板の規格・材質をご提示ください。</p>	<p>5 mの落差に対応した合成ゴム製の材料で積算しています。</p>
<p>53 . 図面番号 38 / 39 ( NO.1両発進立坑舗装復旧図 )</p> <p>・渡辺豊作氏と成沢七衛氏間の市道は、全面通行止めと考えてよろしいでしょうか。全面通行止めの場合、迂回路の設置は不要と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>全面通行止めで考えています。 周辺の道路を迂回させて交通処理が可能だと考えています。</p>
<p>54 . 工事中の排水について、放流先はどのようにお考えですか。</p>	<p>周辺の側溝または排水路を考えています。 詳細は施工時に監督員と協議してください。</p>

<p>5 5 . 設計書 第 1 号内訳書 ( 頁 0-0007 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発生土処理において、積込み機械はどのようにお考えですか。</li> </ul>	<p>土砂ホッパでの積み込みを考えています。</p>
<p>5 6 . 推進工は昼間作業でしょうか。</p>	<p>昼間作業です。</p>
<p>5 7 . 立坑工、鋼矢板 ( 埋設 ) は中古品ですか、それとも新品ですか。</p>	<p>中古品を考えています。</p>
<p>5 8 . 立坑の鋼矢板割付図面と設計書に違いがあります。( 図面はコーナー矢板がワイドではない ) 設計書で見積もればよいでしょうか。</p>	<p>単抜き設計書で見積もりしてください。</p>
<p>5 9 . 推進工の日進量は何 m / 日を想定しているかご指示願います。</p>	<p>元押のみで施工可能な泥水式推進工法の中で最も経済的な工法を選定して日進量を算定しています。</p>
<p>6 0 . ケーソン頂版設置撤去工でFRP蓋の設置・撤去歩掛りをご指示願います。</p>	<p>見積りで計上しています。構造・数量については別添図面をご参照ください。</p>
<p>6 1 . 鋼矢板止水工は工場施工を計上しているか、現場施工を計上しているか、ご指示願います。</p>	<p>工場施工の単価を計上しています。</p>
<p>6 2 . 立坑工の切梁・腹起しの供用日数をご指示願います。</p>	<p>No.1、No.2立坑とも基礎コンクリート打設開始から人孔築造工完了までを存置期間として供用日数を算定しています。なお、No.1立坑の4段目切梁は基礎コンクリート打設から基礎コンクリート養生完了までを存置期間として供用日数を算定しています。</p>

<p>6 3 . 立杭工の覆工板の供用月数をご指示願います。</p>	<p>掘削・支保設置開始から埋戻完了までを存置期間として供用日数を算定しています。</p>
<p>6 4 . 立杭土工でクラムシェルで掘削した土砂の運搬距離をご指示願います。</p>	<p>現場から新潟市親松仮置場までの2.5kmを計上しています。</p>
<p>6 5 . 仮設工の仮囲い工の供用日数をご指示願います。</p>	<p>推進準備工開始から受台撤去完了までを供用日数としています。</p>
<p>6 6 . 工事期間中に休日以外で施工不能期間があればご指示願います。</p>	<p>特にありません。</p>
<p>6 7 . 2立工の底盤地盤改良は、JSG 1600で積算されているのでしょうか。</p>	<p>1800です。</p>
<p>6 8 . 1特殊人孔構造図の手摺規格「SUS504」は、「SUS304」の間違いでしょうか。</p>	<p>SUS304です。</p>
<p>6 9 . 発進立坑の推進設備用地は、図面38 / 39の国土交通省用地を含む三角形の位置と考えてよろしいですか。その場合、借地料の計上は必要ですか。また、上記作業用地の場合、基地中央の道路は通行止め可能と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>三角形の位置とを考えてください。（別添図面参照） 借地料は不要です。 基地中央の市道西7-31号線は通行止め可能です。</p>
<p>7 0 . 病院に近接しておりますが、作業時間等、制限はありますか。また、騒音・振動対策として防音ハウスの設置を考慮する必要はないでしょうか。</p>	<p>作業時間の制限はありません。 昼間の作業であるため防音ハウスは不要です。</p>

<p>7 1 . 立坑築造時の埋戻用仮置土が 4 6 0 m<sup>3</sup>ありますが、仮置場は新潟市「親松仮置場」でよろしいですか。また、搬入・搬出時の掻揚げ機及び積込機の計上は必要ですか。</p>	<p>仮置場は親松仮置場を考えています。積込機は現場に常駐していますので、計上の必要はありません。</p>
<p>7 2 . 設計書内で推進工事の「日当たりの作業時間」をご指示下さい。また、他工種において、当初設計で夜間施工を考えられていますか。</p>	<p>元押のみで施工可能な泥水式推進工法の中で最も経済的な工法を選定し、日進量を算定しています。また、夜間施工は考えていません。</p>
<p>7 3 . 図面 9 / 39 ・ 10 / 39 の平面図において、鋼矢板打設時に病院への水道引込管が支障となりますが、水道管の移設は別途工事と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>別途工事で考えています。</p>
<p>7 4 . 病院前市道内の NO.2 立坑築造時は、片側交互通行の昼間作業と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>現在 3 車線あるうちの 1 車線を作業ヤードに使用し、2 車線を対面通行で確保した昼間の施工で考えています。</p>
<p>7 5 . 補助地盤改良工の薬液注入で水質観測井戸の設置撤去の数量明示がありません。設置箇所数をご指示下さい。</p>	<p>計上しておりません。</p>
<p>7 6 . 月平均の「作業稼働日数」を明示ください。</p>	<p>土日祝日を休日と考えており、休日以外の不稼働日はありません。</p>
<p>7 7 . 支圧壁背面の地盤改良が未計上ですが、計算上必要となった場合は変更の対象と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>計算上不要です。</p>

<p>78 . 設計図に明示されていて、設計書に上げられていない工種・数量については、変更の対象と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>設計書に計上されている工種・数量で施工可能と考えておりますが、現在関係機関と協議中で計上していない工種については別途工事を発注して対応する予定です。</p>
<p>79 . 推進工事において中押し装置が計上されていませんが、必要となった場合は変更の対象と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>計算上不要です。 請負者の責務によらない場合は協議の対象とします。</p>
<p>80 . 立坑周辺には工事用水の取り出しに必要な埋設管がないように思われますが、「工事用水の取水」についての考えを明示ください。</p>	<p>設計には計上していません。 また、特に指定しません。</p>
<p>81 . 第0002号内訳表 - 足掛金物について、材料費のみと考えてよろしいでしょうか。又規格はどうでしょうか</p>	<p>材料費のみです。 幅400mmでポリプロピレン防錆皮膜仕様です。</p>
<p>82 . 第0003号内訳表 - インバート工について、圧送管の総延長は40mと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>通常のコングリートポンプ車打設の歩掛で積算しています。(圧送管30m以下)</p>
<p>83 . 第0004号の内訳表 - 立坑土工について、ダンプトラック運搬(クラムシェルテレスコピック式)の運搬距離はL=3.0Km以下と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>新潟市親松仮置場までの2.5km以下です。</p>
<p>84 . 第0004号の内訳表 - 底盤工について 高圧噴射攪拌工(二重管工法)の注入材の名称・規格を明示願います。</p>	<p>JG-1です。</p>

<p>85 . 第0004号の内訳表 - 切梁・腹起し 賃料等について、No.1立坑・No.2立坑・寺 地排水路仮設護岸工・No.0立坑における山 留材質料の供用日数をお教え願います。</p>	<p>No.1、No.2立坑とも基礎コンクリート打 設開始から人孔築造工完了までを存置期間と して供用日数を算定しています。なお、No.1 立坑の4段目切梁は基礎コンクリート打設か ら基礎コンクリート養生完了までを存置期間 として供用日数を算定しています。</p> <p>寺地排水路仮設護岸工は矢板圧入開始から 人孔築造工完了までを存置期間として供用日 数を算定しています。</p> <p>No.0立坑の山留材質料は覆工板設置開始 から覆工板撤去完了までを存置期間として供 用日数を算定しています。</p>
<p>86 . 第0004号の内訳表 - 補助地盤改良 工-薬液注入について、注入材は溶液型無 機瞬結タイプと考えてよろしいでしょ うか。</p>	<p>溶液型無機瞬結タイプです。</p>
<p>87 . 第0008号内訳表 - 仮設工 - 電力設 備工について、高圧受電設備の設備容量 (KW)及び設置月数をお教え願います。</p>	<p>設備容量は195KWです。また、設置月数は 推進工施工期間と考えてください。</p>
<p>88 . 第0008号内訳表 - 仮設工 - 電力設 備工 - 照明設備について、坑内照明の内訳 に設備費は含まれないのでしょうか。</p>	<p>含まれています。</p>
<p>89 . 第0008号内訳表 - 仮設工 - 防護施 設工について、仮囲いの供用日数をお教え 願います。</p>	<p>掘削・支保設置開始から埋戻完了までを存 置期間として供用日数を算定しています。</p>
<p>90 . 仮設材運搬費について、仮設材の積算</p>	<p>10Km以下、往復を計上しています。</p>

<p>上での運搬距離の明示をお願い致します。 又、運搬は片道でしょうか、往復でしょうか？</p>	
<p>9 1 . 鋼矢板の基準価格は県単価と建設物価のどちらを採用すればよろしいでしょうか。</p>	<p>県単価を採用しています。</p>
<p>9 2 . No 2特殊マンホールの角落としについて材質もしくは、製造メーカーについてご教示願います。</p>	<p>材質はFFU（合成木材）です。製造メーカーは特に指定していません。</p>
<p>9 3 . 寺地排水路改修工の切梁腹起し材料の仕上塗装についてご教示願います。</p>	<p>現在、水路管理者との協議はおおむね完了しておりますが、詳細な仕様等が確定していないため当該工事の施工対象外としております。協議が完了し、仕様等が確定した時点で別途付帯工事を発注する予定です。</p>
<p>9 4 . 立坑工（第0004号明細表）のケーソン頂版設置撤去工の施工内訳についてご教示願います。</p>	<p>見積もりで計上しています。構造については別添図面をご参照ください。</p>
<p>9 5 . 推進工の推進機械の修理費について、計上されていますでしょうか？</p>	<p>機械器具損料その1の工種で計上しています。</p>
<p>9 6 . 仮設作業ヤードの範囲について、使用する場所はどこでしょうか？又、借地料は発生するでしょうか。</p>	<p>別添図面を参考にしてください。借地料は必要ありません。</p>
<p>9 7 . 施工条件総括表の1. 工程関係、4. 関係機関協議（ガス、水道）において、協議</p>	<p>ガス・水道の移設は不要ですが、管に近接した作業であるため協議が必要です。</p>

<p>の内容はどのようなものがあるのでしょうか。また協議が終わり現地の実施着工はいつ頃を想定すればよいのでしょうか。</p>	<p>着工時期については、地元説明会や試掘及び埋設管協議等の調整が必要ですので、特に問題が無ければ契約日の3ヶ月後程度になるものと考えています。</p>
<p>98．施工条件総括表の1．工程関係、3．施工時間について、制限は特に無いとなっていますが、推進作業時の昼夜間作業はできるのでしょうか。また他の工種においても残業、夜間作業が必要となった場合は残業・夜間作業等は可能でしょうか。</p>	<p>昼間の作業で考えています。 また、夜間工事が必要な場合は関係機関との協議が必要となります。</p>
<p>99．施工条件総括表の2．用地関係、2．仮設ヤードの指定については特に無くなっていますが、アピタ北側の新潟市公園用地は仮設ヤード（事務所用地、残土仮置場等）として使用可能でしょうか。</p>	<p>事務所用地は請負者の判断に任せていますので、必要であれば貴社で公園管理者と協議してください。 残土置場は市指定の置場を使用する設計としています。</p>
<p>100．同じく用地関係において、両発進立坑部の発進ヤードについては道路上及び国土交通省用地ですが、どこまでの範囲を占有することができるのでしょうか。西側の農道は工事期間中通行止めになると思いますがよろしいでしょうか。また農地を借地する必要がある場合、借地は可能でしょうか。農地転用も必要と思いますが、 発進ヤードの仮設計画図があれば、ご提示ください。</p>	<p>市道及び国土交通省用地は、各管理者と事前協議済みで作業時に使用できることとなっていますので、作業ヤードは別添図面を参考にしてください。 西側の市道西7-31号線は通行止めで考えております。 農地の借地は必要ないものと考えていますが、借地にあたっては関係者との協議が必要です。 発進ヤードの仮設計画図別紙のとおりです。</p>
<p>101．施工条件総括表の3．公害対策関係、1．施工法の制限（水質）において、</p>	<p>新潟県条例の規制の対象になっておりませんが、新潟県土木工事標準仕様書を参考に</p>

<p>排水基準は新潟県条例に準ずればよいでしょうか。</p>	<p>係法令等に従ってください。</p>
<p>102 . 同じく公害対策関係において、処理後の工事排水の放流先について両発進ヤード部では道路西側の水路でよいのでしょうか。また 2到達立坑部は南側既設雨水排水路でよいのでしょうか。 0既設ケーソン到達立坑部では指定の排水路があるのでしょうか。設計上の考えをご提示ください。</p>	<p>放流先は特に指定しておりませんが、排水先是最寄りの側溝や排水路を考えています。</p>
<p>103 . 電力設備の確保について、発進立坑部での高圧受電、 2・ 0到達立坑での低圧受電が必要になると考えますが、設計上の考えをご提示ください。</p>	<p>推進工でしか仮設電源を使用しないため、発進立坑の位置で高圧受電を計上していません。</p>
<p>104 . 給水設備の確保について、発進立坑部、 2・ 0到達立坑それぞれの場所で給水設備が必要になりますが、設計上の考えをご提示ください。</p>	<p>設計には計上していません。 また、特に指定しません。</p>
<p>105 . 施工条件総括表の3. 公害対策関係、2. 家屋調査について、設計図書の数 量計算書を見ると、工作物調査面積150m<sup>2</sup> 未満が2件となっていますが、外構工作物 のみで、家屋本体の調査は無しという理解 でよいのでしょうか。また、対象家屋の位 置図をご提示ください。</p>	<p>設計段階では不要と考えており計上していません。</p>
<p>106 . 施工条件総括表の4. 安全対策関 係、5. 交通誘導員について、設計書では</p>	<p>施工条件の変化や関係機関との協議等により 交通誘導員の配置時間や人数が変わった場合</p>

<p>昼間勤務（交代要員有り）となっており、数量も示されていますが、昼夜間施工となった場合、また道路占用協議等で数量変更となった場合は設計変更の対象と考えればよいでしょうか。</p>	<p>は設計変更の対象とします。</p>
<p>107．施工条件総括表の5．工事用道路関係、2．一般道路の占用可能について、道路管理者との協議となっていますが、工事期間中の両発進立坑部の昼夜間における全面占用および片側占用の範囲をどのように想定すればよいでしょうか。</p>	<p>両発進立坑部の作業ヤードの考え方は別添図面に示したとおりで、市道7-31号線及び国土交通省用地については、管理者と事前協議済みで作業時に使用できることとなっています。（市道は通行止め）</p>
<p>また 2到達立坑部の広域農道1号線は工事期間中、交差点より北側に昼夜間片側占用を行わないと工事は困難と思われませんが、どのように想定すればよいでしょうか。</p>	<p>現在3車線あるうちの1車線を作業ヤードに使用し、2車線を対面通行で確保しながらの施工を考えています。</p>
<p>これらの道路管理者との協議が終わり現地の実施着工ができるのはいつ頃を想定すればよいでしょうか。</p>	<p>着工時期については、地元説明会や試掘及び埋設管協議等の調整が必要ですので、特に問題が無ければ契約日の3ヶ月後程度になるものと考えています。</p>
<p>108．施工条件総括表の7．発生土産業廃棄物関係において、泥水および汚泥の処理地の指定・処理条件等があればご提示ください。</p>	<p>処分地は新潟特殊企業（新潟市江南区丸潟新田726-1）で積算しています。</p>
<p>109．施工条件総括表の8．工事支障物件、1占用支障物件あり（水道、ガス）となっていますが、内容的にはどのような支障でしょうか。</p>	<p>ガス・水道の移設は不要ですが、管に近接した作業であるため協議が必要です。</p>

<p>またこのことにより、工程が大きく変わる場合は設計変更（工期変更）となる事ではないでしょうか。</p>	<p>現時点では上記の原因で工期変更が行われることはないものと思われませんが、不測の事態が発生するなどやむを得ず工期が延びる場合は変更の対象とします。</p>
<p>110. 設計図書にボーリング柱状図が記載されていますが、地質調査の概要、詳細なボーリング柱状図、土質データ及び最大礫径の分かる資料をご提示ください。</p>	<p>本工事の積算には詳細な土質データは不要と思われるため提示していませんが、必要があれば西部地域下水道事務所で閲覧してください。</p>
<p>111. 0既設ケーソン立坑作業時の立坑内水位について、到達架台設置・撤去および推進工到達作業時は立坑の坑内水位はどのような状況でしょうか、水中作業を考えた場合、坑内水位はどの程度まで上がるのでしょうか。また坑内水の流速はあるのでしょうか。もしくは水替えを行ないながらの作業となるのでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>立坑内は常時1.5mの水位があります。大雨時にしかケーソン内に水が流入しないので、梅雨時期等大雨の時期を避けて施工すれば水中作業や水替えは必要ないものと考えています。</p>
<p>112. 2到達立坑の路面覆工について、設計図に記載されている仮設防護柵（車道、歩道）が設計書には計上されていません。どこに計上するのかご教示ください。また詳細図・数量・計上項目をご提示ください。</p>	<p>共通仮設費の率計上分の安全費に含まれるものと考えています。</p>
<p>113. 2分水人孔寺地排水路欠損部構造図について、この部分の設計的意図がよく理解できません。ご教示願えますでしょうか。</p>	<p>矢板欠損部からの土砂の流出を防ぐための補強です。</p>

<p>1 1 4 . 管きょ推進工の機械器具損料その1 について、設計書及び数量計算書からでは 詳しい内容が分かりません。詳細資料（規 格、仕様、寸法、数量）をご提示くださ い。</p>	<p>別添機械器具損料表を参照してくださ い。積算にあたって別紙損料表の機械を使 用しています。</p>
<p>1 1 5 . 設計図の電子データ（PDF版） を早急にいただけないでしょうか。</p>	<p>今現在、電子化に向けて検討中ですの で、しばらくお待ちください。</p>
<p>1 1 6 . No. 2 分水人孔に関わる図面番号 2 7 / 3 9 にはスクリーンがありますが、工 事数量総括表や工種明細表には、スクリー ンがありません。どこに計上するのかご教 示ください。</p>	<p>現在、水路管理者との協議はおおむね完了 しておりますが、詳細な仕様等が確定してい ないため計上しなくて結構です。協議が完了 し、仕様等が確定した時点で別途付帯工事を 発注する予定です。</p>
<p>1 1 7 . No. 2 分水人孔に関わる図面番号 2 8 / 3 9 に鋼蓋がありますが、工事数量総 括表や工種明細表には鋼蓋がありません。 どこに計上するのかご教示ください。</p>	<p>現在、水路管理者及び道路管理者との協議 はおおむね完了しておりますが、詳細な仕様 等が確定していないため詳細な仕様等が確定 していないため計上しなくて結構です。協議 が完了し、仕様等が確定した時点で別途付帯 工事を発注する予定です。</p>
<p>1 1 8 . No. 2 分水人孔のコンクリート耐磨 耗板の材質が不明です。ご提示ください。</p>	<p>5 mの落差に対応した合成ゴム製の材料で 積算しています。</p>